

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 16 日 更新

事務事業名		放課後児童クラブ室整備事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	こども部	課長名	衛藤 和博
	施 策	4 子育て支援の充実				所属課	こども未来課	担当者名	高鷹 博和
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1621
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 11345	根拠法令	児童福祉法、合志市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	学童保育の環境改善を図り、児童の安全安心を確保することを目的に放課後児童クラブの整備を行う。 今後も、大規模な放課後児童クラブの分割や施設の老朽化等、それぞれのクラブの状況を勘案しながら、事業を実施していく。 本事業は「合志市合志市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき実施しているもので、厚生労働省の「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の策定に伴い、条例を制定した。
【業務の流れ】	①設計・施工伺い ②入札 ③工事契約 ④完了検査 ⑤支払い
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	平成27年度学童クラブ代表者会議の中で、西合志東小・合志南小・南ヶ丘小の学童クラブの新設要望が出されている。 平成29年度には西合志南小学童クラブで待機児童が発生し、施設整備について要望書が提出された。 令和2年度には南ヶ丘小学童クラブの増設についてクラブ運営者から要望書が提出された。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 南ヶ丘小学校第3、4放課後児童クラブ及び西合志南小学校第4・5放課後児童クラブの新設工事を実施し、本年度中に完了した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志小学校放課後児童クラブ室新設に向けて、実施設計を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 小学校の敷地内にあるクラブ室	箇所	南ヶ丘小及び西南小放課後児童クラブ室竣工に伴う工事請負費の減	
→ イ 小学校の敷地外にあるクラブ室	箇所		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
放課後児童クラブ室		→ ア 施設の整備が必要な学童クラブ室	箇所
		→ イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
放課後児童クラブ室を整備することによって、安心安全に保育できるようにする。		→ ア 整備した学童クラブ室	箇所
		→ イ 整備した学童クラブ室に入所した児童数	人
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
新設校、大規模化による分割及び待機児童解消に伴う施設整備であるため、整備した施設に入所した児童数として設定した。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込
① 活動指標	ア	箇所		16	16	16	16	20	20	20	20	
	イ	箇所		13	12	12	12	12	12	12	12	
② 対象指標	ア	箇所		4	4	4	4	1	1	1	1	
	イ											
③ 成果指標	ア	箇所		0	0	4	4	1	1	1	1	
	イ	人		0	0	0	0	160	40	40	40	
投資 事業 入費 量 人件 費	財源 内訳	国庫支出金	千円			96,864	104,324		100,000	8,854	8,854	
		都道府県支出金	千円			9,684	10,432		10,000	8,854	8,854	
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円			131,200	131,200					
		一般財源	千円		3,080	19,279	24,294	27,647	50,000	8,854	8,854	
	(A) 事業費計	千円	0	3,080	257,027	270,250	27,647	160,000	26,562	26,562		
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人件 費	正規職員従事人数	人	3	4	2	4	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	700	300	430	600	430	430	430	430	
(B)人件費計		千円	2,737	1,141	1,713	2,185	1,713	1,713	1,713	1,713		
トータルコスト(A)+(B)			千円	2,737	4,221	258,740	272,435	29,360	161,713	28,275	28,275	

事務事業名	放課後児童クラブ室整備事業	所属部	こども部	所属課	こども未来課
-------	---------------	-----	------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した 待機児童解消のため西合志南小学童クラブ及び南ヶ丘小学童クラブの増設を行った。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 令和5年度に実施設計に基づき新設工事を実施予定。 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある⇒【理由】 国庫補助事業で実施するため、成果向上の余地なし ☒ 向上余地がない⇒【理由】
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 ☒ 他に手段がない⇒【理由】 国庫補助事業であるため、類似事業との統廃合は難しいが、複合的な施設として、他の事業と連携できる場合がある。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある⇒【理由】 建物構造を検討することで、事業費削減を図ることが出来る。 ☐ 削減余地がない⇒【理由】
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 必要最低限の職員で事務を行っているため、人件費の削減余地なし ☒ 削減余地がない⇒【理由】
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 児童福祉法に基づく放課後児童健全育成事業であるため、受益の機会は公正・公平である。 ☒ 公平・公正である⇒【理由】
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 学童保育は児童福祉法に基づくものであり、実施主体である行政の責任において実施するものであり適性である。 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

今後も市内の就学児童数の推移等を勘案し、放課後児童クラブの増設等の検討も含め、学校教育課・学校など関係機関と連携を図りながら協議を行っていく必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							